

(社)日本コンクリート工学会四国支部
第3回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事録(案)

1. 日 時:平成24年1月17日(火) 13:00~15:00
2. 場 所:橋湾火力発電所 1F 多目的ホール
3. 出席者:上田委員長, 牛尾, 岡崎, 高野, 五藤, 長江, 原田, 堀井, 松田, 三浦, 横井, 横田, 横手, 渡邊, 一色, 塚越(敬称略, 順不同)以上 16名
4. 配布資料:
 - 3-0 第3回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事次第
 - 3-1 第2回「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」議事録(案)
 - 3-2 フライアッシュを細骨材に一部置換したコンクリートの乾燥収縮(阿南高専・阿南生コン中間報告)
 - 3-3 フライアッシュの有効利用に関するシンポジウムへの参加報告書
 - 3-4 フライアッシュコンクリート構造物の耐塩害性に関する研究(中間報告)
 - 3-5 JCI 四国支部「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」WG 構成案
5. 議 事:
 - (1) 委員長挨拶
上田委員長から, 第3回研究委員会開催にあたっての挨拶があった。
 - (2) 委員自己紹介
今回初めて参加した, 五藤委員より自己紹介があった。
 - (3) 前回議事録の確認
塚越幹事長から, 資料3-1に基づいて, 前回議事録が通読され, 了承された。
 - (4) 話題提供:1 「フライアッシュを細骨材に一部置換したコンクリートの乾燥収縮」(堀井委員)
堀井委員から, 資料3-2に基づいて, FAや高炉スラグ, 砕石・砂, 石灰岩砕石を用いて作製されたコンクリートの耐久性に関する研究報告と今後の研究計画についての説明があった。
 - (5) 話題提供:2 「フライアッシュの有効利用に関するシンポジウムへの参加報告」(塚越幹事長)
塚越委員から, 資料3-3に基づいて, 2011年12月12日に行われた, 日本材料学会主催・フライアッシュの有効利用に関するシンポジウムでの講演に関して簡単な説明があった。
 - (6) 話題提供:3 「フライアッシュコンクリート構造物の耐塩害性に関する研究」(上田委員長)
上田委員長から, 資料3-4に基づいて, 電気泳動によるコンクリートの塩化物イオンの実効拡散係数の測定結果と, 今後の研究計画についての説明があった。
・試験は高炉セメントにFA混和したものを先行して行っており, 普通セメントについては追って研究を行う予定である。
 - (7) JCI 四国支部「フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会」WG 構成案(上田委員長)
上田委員長から, 資料3-5に基づいて, 以下の3つのWGに関する説明があった。また, 各WGの主査・副査の担当ついてお願いがあり, 各委員より快諾された。また, 以下以外にもFA普及に向けて新たなWGの立ち上げについても要望があれば検討したい。
 - ① 耐塩害性(物質移動抵抗性)評価WG : 岡崎主査, 三浦副査
 - ② 応用・実用化技術WG : 堀井主査, 原田副査
 - ③ 普及検討WG : 高野主査, 横手副査・本WGには, 五藤委員にも参加のお願いがあり, 快諾いただいた。なお, 五藤委員には四国内のFAを使った既存構造物に関するデータのご提供を検討いただくことになった。
 - (8) 今後の予定
今年度の委員会は今回(第3回)で終了とし, 次年度は今回決まった活動方針に従って検討を進める事となった。次回委員会は5/10(木)13:30~徳島大学にて開催。これまでに, 各WGにてメール会議等を行い, 内容をまとめて報告を行う。

報告者:塚越
以 上